

|       |             |         |         |      |     |
|-------|-------------|---------|---------|------|-----|
| 科目名   | 特殊講義Ⅰ（韓国言語） | 科目コード   | 1591    | 単位数  | 2   |
| 担当者名  | 水野 俊平       | 開講セメスター | 第5セメスター | 開講年次 | 3年次 |
| 授業の方法 | 講義          | 実務経験    | 無       |      |     |

●授業のねらい

韓国の言語文化を理解するために不可欠である韓国語学の知識と、韓国語資料に対する調査方法を習得することを目的とする。あわせて、韓国語で書かれた論著を読解する能力を涵養する。ここでは韓国語資料として韓国の大衆歌謡を用いる。また必ず韓国語と日本語を対照し、日本語と韓国語の相似と差異が理解できるようにする。難解な国語学を身近な事例を通してわかりやすく解説する。

●到達目標

- ①韓国語学の基本的な用語と概念を理解する。
- ②韓国語の文章、韓国の大衆歌謡の例文を韓国語学の観点から分析し、韓国の言語文化の動向を把握する。
- ③韓国語で書かれた論文を読解し、論旨を把握する能力を涵養する。

●授業内容

- 1週目 韓国語学の概要を理解する。韓国語学（国語学）の各分野とその概要を学ぶ。
- 2週目 音韻論①。発音器官、韓国語の子音とその特徴、分類を学ぶ。
- 3週目 音韻論②。韓国語の母音とその特徴、分類を学ぶ。
- 4週目 音韻論③。韓国語の音韻規則（中和・同化・頭音法則・音の脱落と縮約および添加・末音）を学ぶ。
- 5週目 文法論①。韓国語の単語の基本構造、品詞（名詞・代名詞・数詞・動詞と形容詞・定冠詞と副詞）を学ぶ。
- 6週目 文法論②。韓国語の単語の造語法（複合語・反復複合語・派生語・特殊派生語）、借用語（借用語の土着化・借用語の時代的背景・漢字語）を学ぶ。
- 7週目 文法論③。韓国語の助詞（格助詞：主格助詞・対格助詞・属格助詞・処格助詞・具格助詞・共同格助詞・呼格助詞、特殊助詞）の機能を学ぶ。
- 8週目 文法論④。韓国語の語尾（先語末語尾・文末語尾・接続語尾・名詞化語尾・冠形化語尾）を学ぶ。
- 9週目 文法論⑤。韓国語の文の種類、否定（否定文の種類・否定文の意味と制約・短形否定と長形否定）、被動と使役などを学ぶ。
- 10週目 文法論⑥。韓国語の敬語法（代名詞・呼称）を学ぶ。あわせて親族名称を学ぶ。
- 11週目 文法論⑦。韓国語の敬語法の種類（主体敬語法・客体敬語法・対者敬語法）、敬語法の組み合わせ、敬語法決定の要因などを学ぶ。
- 12週目 文字論①。ハングルの歴史（ハングルの誕生・ハングルの制字原理・ハングルの特徴）を学ぶ。
- 13週目 文字論②。ハングルの組み合わせ、ハングル表記法、ハングル表記法に対する評価を学ぶ。
- 14週目 方言論①。韓国語の方言であるソウル語と標準語、方言区画、音韻現象を学ぶ。
- 15週目 方言論②。韓国語の方言の文法形態および語彙について学ぶ。
- 16週目 1週から15週にわたって学んだ内容（主に韓国語学の事項）を復習し、試験を実施する。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①PDFファイルで提供された教材の韓国語原文を日本語で発表できるように準備すること。②翻訳した原文はGoogleドライブ上に書き込むこと。①と②が予習に当たり、時間はおおむね1時間ほどの所要が見込まれる。③Googleドライブ上で確認クイズに取り組むこと。④授業の概要を200字ほどでまとめること（Googleドライブ）。③と④が復習に当たり、おおむね1時間ほどが見込まれる。

●成績評価の方法・基準

確認クイズ20%＋中間試験25%＋期末試験25%＋授業における発表（準備状況）10%、課題20%で評価する。

●履修上の留意点

履修の前提として、韓国語文章の基礎的な能力は必須である。韓国語未履修者は授業参加・継続自体が困難であることに留意すること。必ず与えられた韓国語原文は自分で日本語文に翻訳すること（ネット上の自動翻訳は禁止する）。各論が終わるごとに課せられる課題に真摯に取り組むこと。

●課題に対するフィードバックの方法

受講者から提出された教科書の原文はすべて添削したのち、Googleドライブ上に提示する。また随時寄せられる質問にはLINEで即答する。課題の成果はホームページ上で公開する。

●テキスト

李翊燮他（2011）『国語学概説』学研社（定価20,000ウォン）  
韓国で出版された本であるため、内容を要約し、PDFで配布する。購入の必要はない。

●参考書

李翊燮・李相億他著、梅田博之監修、前田真彦訳（2004）『韓国語概説』大修館書店 3,080円（本体2,800円＋税10%）

●更新日付

2022/03/05 07:22